


フォースセンサーの仕様について

「Z会プログラミング講座 with LEGO® Education 標準編」につきまして、アプリのバージョンアップによる仕様変更に伴い、以下の通り教材を訂正いたします。

◎変更となった仕様

以前のバージョンのアプリでは、 ブロックは「フォースセンサーが押される」というイベントが発生したときに真となっていました。新しいバージョンでは、「フォースセンサーが押されている」状態であれば、常に真になります。そのため、すでにフォースセンサーが押された状態で



ブロックに到達したときに、以前のバージョンではフォ

ースセンサーを押し直さないと次の処理に進みませんでした。新しいバージョンのアプリではそのまま次の処理に進むようになりました。

◎変更に伴い修正が必要な単元

・vol.11 「ルーレットマシン」

◎変更箇所

保護者用ガイド 20 ページ～21 ページのプログラム例①③④



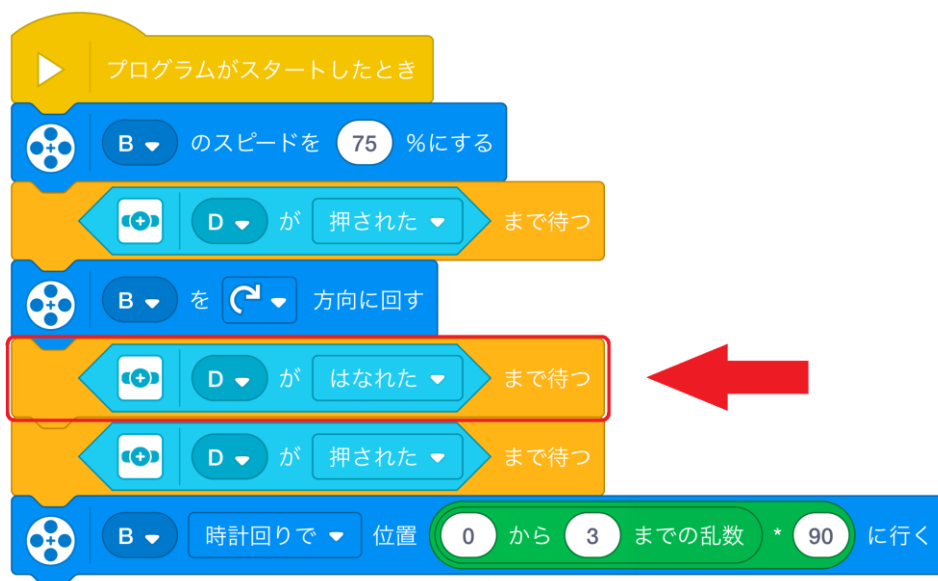
と二番目の



との間に、

を挿入してください。

(プログラム例①の修正例)



ご迷惑をおかけして申し訳ございませんが、上記の通り修正をお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、Z会プログラミング事務局までお問い合わせください。

Z会プログラミング事務局

https://service.zkai.co.jp/enquete_sp/?s=programming_inquiry